

校長の話

校長 上村 哲也



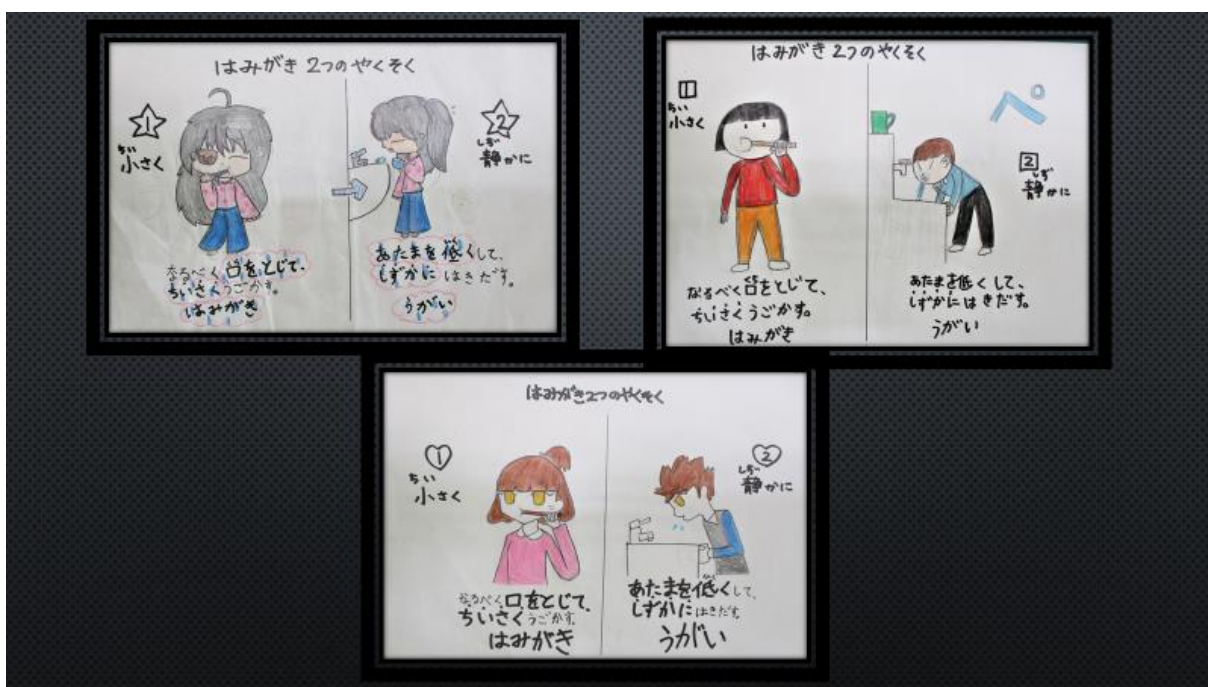
昨日の掃除の時間に見た姿です。画面の真ん中は整備美化委員の人が描いてくれたポスターです。



このような姿を見てどう思いますか？ 写真を見るだけで清々しい気持ちになります。とても美しい姿ですね。



これは歯磨きをしている様子です。保健委員会の人が一人一人にカードを配ってくれましたね。飛沫が飛ばないようにカードを利用しています。

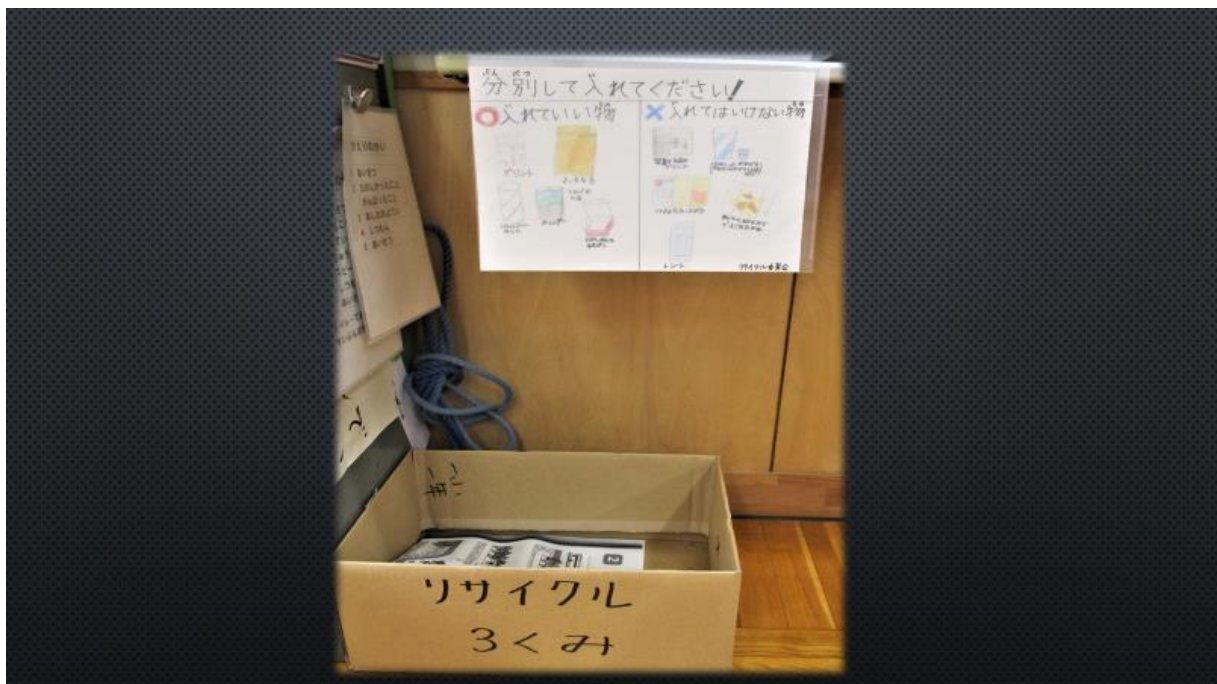


とても分かりやすいイラストです。みなさんにはどのカードが届いているでしょうか？

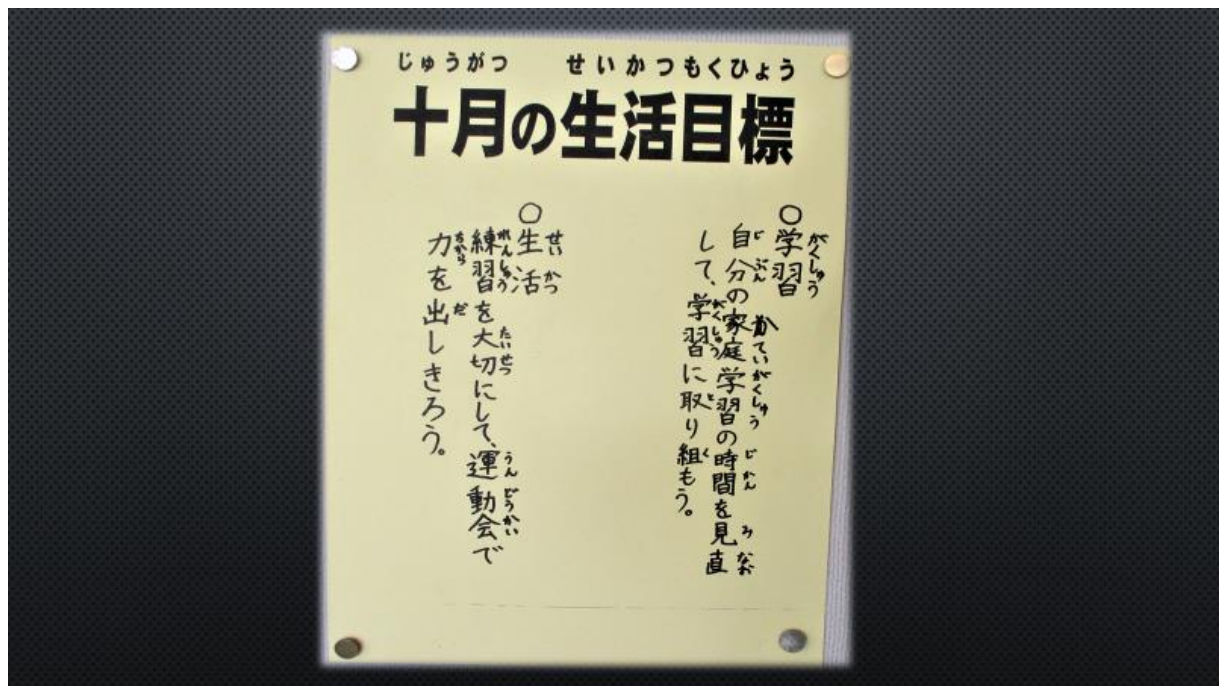
とてもありがたいですね。素晴らしい活動だと思います。



昨日から貼り出された「ーレボ」のすすめです。本当はみんなで集まって外で活動したいところですが、コロナでそれができません。これを参考に、家で運動に取り組みましょう。モデルの人は上手ですね。



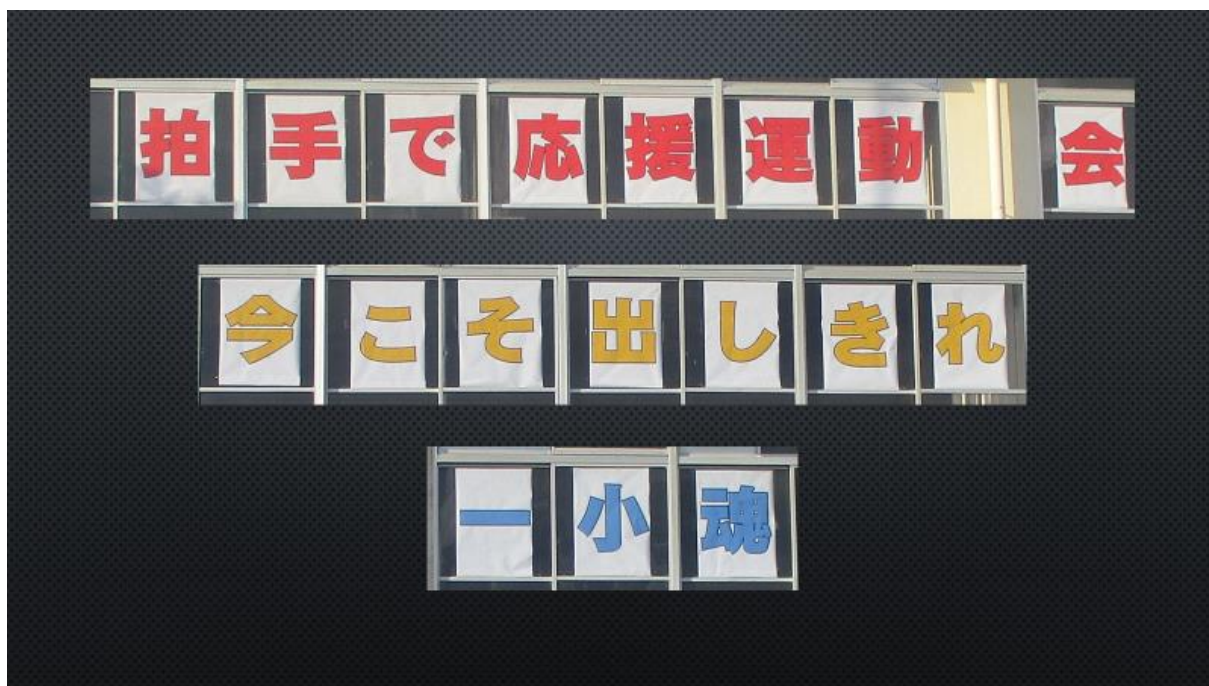
次は、リサイクルの呼びかけです。リサイクル委員会の人が作ってくれました。イラストで具体的に示しているので分かりやすいですね。分別はなかなか難しいですが、これならよく分かります。



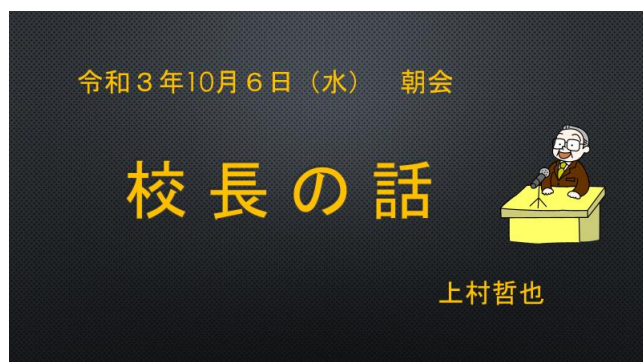
10月になって生活目標が変わりました。家庭学習に取り組んでいますか？
 いよいよ月末は運動会ですね。精一杯頑張って楽しみましょう。



昨日の放課後、先生方でスローガンを掲示しました。今朝、見ましたか？



スローガンにあるように、一小魂を発揮していきましょう！



朝会の話はこれから始まります・・・

今、季節は秋。暑さの落ち着く秋は、集中力が高まりやすく、読書に最適な季節です。

秋は読書の似合う季節でもあります。「読書の秋」などとも言われます。

あなたは、読書をしますか？毎日何冊も図書館から本を借りてくる人もいれば、本当は全く読まないという人もいますでしょう。

今朝は、読書で得られるいろいろな効果と、読書の習慣を付けるコツをお知らせします。



なぜ読書をした方が良いのでしょうか？ その理由は、読書を通してさまざまな力が育まれるからです。その力とは、学力に関することだけではありません。どんな効果があるのか、具体的に見ていきましょう。

その1 言葉や読み解く力が身に付く

読書をすると、知らない言葉、初めて見る漢字、面白い表現方法…など、いろいろな言葉に触れます。そして、言葉の意味を考えたり、登場人物の気持ちを前後の文章から想像したりすることで、正しく内容を理解することができ、学力アップにもつながります。

その2 集中力が養われる

読書は自分から読み進めるものです。ぼーっと見ることが出来るテレビと違い、「読もう」と思わなければ先に進めません。そのためには集中力が必要になります。そして、読書で養われた集中力は、授業やスポーツといった他の場面でも発揮されることとなります。

その3 知識が増える

歴史に残る人について知ったり、生き物について調べたり、世界の出来事に興味を持ったりして、役立つ知識を得られるだけでなく、新しいことに興味・関心を持つきっかけにもなり、将来の夢や目標が見つかるかもしれません。

読書の効果

その1 言葉や読み解く力が身に付く

その2 集中力が養われる

その3 知識が増える

その4 想像力が豊かになる

その5 人の気持ちがわかり

コミュニケーション力が高まる

その6 自己肯定感が高くなる

その7 気持ちが安定する

その4 想像力が豊かになる

本を読むときは、文章から風景や登場人物の気持ちを想像しなければなりません。絵と絵の間の場面や登場人物の声、音などはイメージする必要があります。読書は頭の中でいろいろなことを思い描くため、自然と想像力が豊かになります。

その5 人の気持ちがわかりコミュニケーション力が高まる

想像力が豊かになると、相手の気持ちを想像したり理解したりできるようになります。行動や言葉のバリエーションも増えるため、コミュニケーションも上手になります。

その6 自己肯定感が高くなる

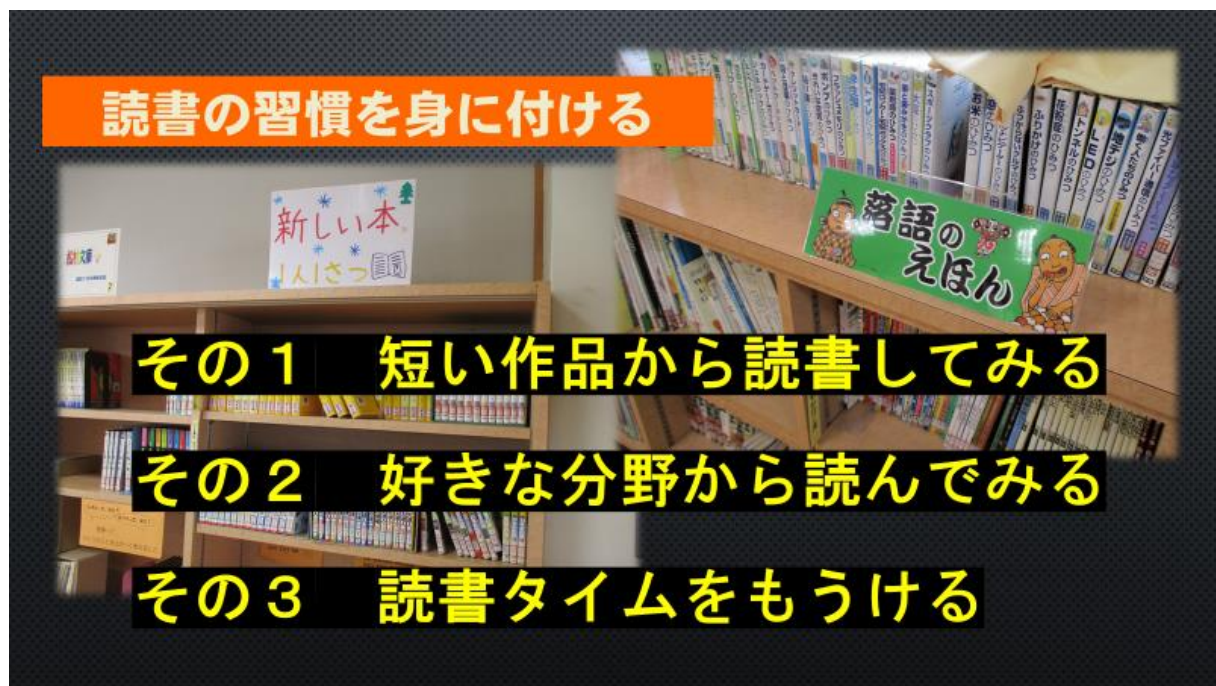
物語の種類も登場人物も様々です。自分と違った見方や考え方に触れるため、柔軟な心をもてるようになります。きっと友達のことも受け入れられるようになるでしょう。同時に自分自身のことも認められるようになり、自分を好きになることができます。

その7 気持ちが安定する

真剣に読書をしていると、時間を忘れるほど夢中になれます。何かに没頭すると心が落ち着き、さまざまなことに対する意欲が沸いてきます。気持ちが不安定なときこそ読書をしてみるとよいのかもしれません。

さて、ここまで読書の良さを7つ紹介しました。

とはいえ、「本を読みたいけど、いつも途中で投げ出してしまい、なかなか続かない…」と悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。そんな人のために、ここから読書の習慣をつける3つのコツを紹介します。



その1 まずは短い作品から読書してみる

長い文章のものから読み始めてしまうと、挫折してしまうかもしれません。まずはページ数が少なく気軽に読める本から始めてはどうでしょうか。図書室には漫画や図鑑などもたくさんありますね。

その2 好きな分野から読んでみる

読書を習慣化するためには、自分の好きな本を読むのが一番いいでしょう。自分の趣味に関するものなど、楽しく読めるものを選んでみてください。きっと無理なく継続することができます。

また、読み始めたはいいもののおもしろくなく、最後まで読み進めるのがつらいという場合には、思い切って途中で読むのをやめてしまってもいいと思います。

その3 読書タイムを設ける

「本を読みたい」という気持ちがあっても、なかなか時間がとれず、後回しになってしまうこともあります。そこで、本を読む時間をあらかじめ決めてしまうのはどうでしょうか。例えば、

- ・毎日、お風呂上がりに 30 分読書の時間にあてる
- ・学校でのお昼休みは読書にあてる
- ・毎週日曜日の昼、1 時間は本を読む など

自分の生活に合わせて設定することで無理なく読書タイムを組み込むことができます。

ところで、一小の先生方のおすすめの本を図書委員のみなさんが紹介してくれました。

先生おすすめの本



図書室へどうぞ！

これを参考に本を選ぶのもよいと思います。おすすめの本はすべて図書室に揃えていきますので楽しみにしてください。

・・・これで今日の話は終わりです。